

基本施策 A 4 国際性を豊かにします

主管課：国際課

個別施策

- A4-1 国際交流の機会の充実を図ります
- A4-2 外国人住民が暮らしやすい環境づくりを進めます
- A4-3 留学先としての質の向上を図り、留学生の満足度を高めます

ア 施策の目的

市民が、国際交流や国際理解に積極的に取り組み、外国人住民とともに快適な環境の中で暮らしている

イ 基本施策の評価

D b 目標を達成していないが、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる

ウ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	
国際理解講座 への参加者数	2,030人 (26年度)	↑	目標値	2,087	2,115	2,144	2,172	2,200	2,587
		↓	実績値	3,185	2,932	2,380	2,531	2,715	1,597
		↓	達成率	152.6%	138.6%	111.0%	116.5%	123.4%	61.7%
在留外国人数	3,444人 (26年)	↑	目標値	3,529	3,572	3,615	3,658	3,700	3,700
		↓	実績値	5,659	4,109	3,809	3,700	3,163	2,854
		↓	達成率	160.4%	115.0%	105.4%	101.1%	85.5%	77.1%

エ 評価結果の妥当性

基本施策及び個別施策の成果指標の達成状況等から、二次評価では、「D c 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服がやや遅れている」と判断しているが、成果指標の「国際理解講座の参加者数」は、令和2年度までは100%を超えており、「在留外国人数」についても、令和元年度までは100%を超えている。令和2年度や3年度はコロナ禍の中で、実績値が減少しており、令和3年度の数値だけでみるとかなり低い評価になるが、これまでの個別施策の取組み状況等を勘案すると、「D b 目標を達成していないが、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる」が妥当である。

オ 審議会における政策評価に対する意見

なし

カ 審議会における施策推進に向けた提案

なし